



映画を通して”知ることから”
SDGsシェアプロジェクト作品
<https://sdgsshare.info>

今まで見えなかった、触れることがなかった、知ることなかった社会課題を映画・音楽を通して見つめる、触れることで共に解決方法を見つけたい。社会課題を映画化していくSDGsシェアプロジェクトの第二弾作品です。課題の本質を見出し、少しでも解決へ向かえるように作品化して共有(シェア)していくプロジェクトです。

広島被爆者オーラルヒストリー
ドキュメンタリー映画

シネ・リーブル池袋
SDGS FILM SERIES
director kazumi matsumoto

この時、二人は何を思っていたのか

a film by kazumi matsumoto

人のために
for you
hiroshima
a-bomb
survivor
story

“DIRECTOR” KAZUMI MATSUMOTO “SONG” ELEGY-BONNIE PINK “MUSIC” TOSHIAKI MATSUMOTO
“PRODUCER” YURINA ISHIHARA “CO-PRODUCER” YOSUKE ENDO “EX-PRODUCER” MAKIE SONOYAMA
“PUBLICITY PRODUCER” TOKUJI IUCHI “MUSIC COOPERATION” NOBUO UESAKA “PAPER CUTOUT” YUHO

SHIGEAKI MORI KAYOKO MORI KATSUKO KUWAMOTO CHIEKO KIRIAKE MASUJI FUKABORI NAOOKO SATO AYAKO NAKAMOTO SUSUMU OOMOTO PATER LEE ROBERT M. DEITERS SUEKO FUKUDA LUIS CANGAS “PUBLICITY+DISTRIBUTION” TENDER PRO “EDIT” mksdgn LLC ALBUM “MA” TAISETSU FILM MAKER “CAMERA ASSISTANT” KEITA FUJIE “PRODUCTION” SDGs Share Project LLC ALBUM “PRODUCTION ASSISTANT” TOMOKO OKUNO “SPECIAL THANKS” FUJIPACIFIC MUSIC INC. TAISUKE Co., Ltd. Della Inc. origami PRODUCTIONS SDGS PEACE COMMUNICATION PROJECT “PRODUCTION COOPERATION” NPO SUPPORT FOR WOMAN’S HAPPINESS SIMPLE LIFE ASSOCIATION “THANKS” Domenico VITALI Lee Sang-won Yuki Kubo Isao Hashimoto Nagatsuka Monastery for Jesuits Memorial Cathedral for World Peace GION Catholic church Yamaguchi Catholic Church Xavier Memorial Chapel Hiroshima Prefecture Confederation of A-Bomb Sufferers Organizations Daigo Fukuryu Maru Exhibition Hall Group of Legacy Successors FANO The U.S. National Archives and Records Administration U.S. Embassy Tokyo ©for you - Hito no tameni Film Partners

原爆による被害を受けながらも人のために動いた人たち

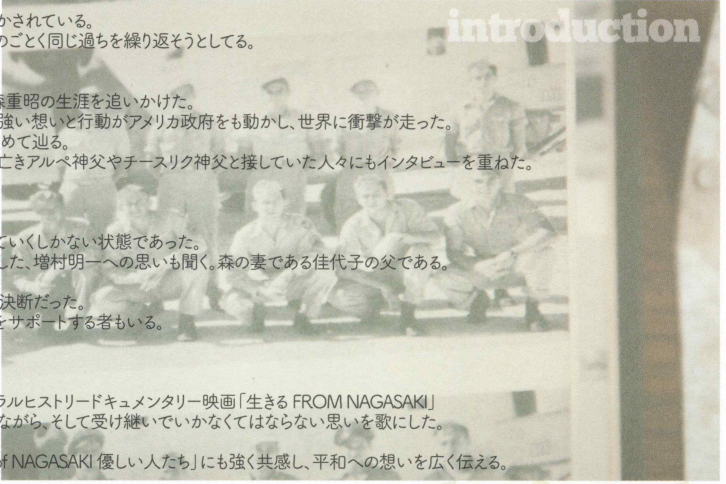
世界情勢が急速に冷え込んでいっている今、再び核兵器の使用がほめかされている。多くの犠牲者が出た広島への原爆投下から77年が経ち、それを忘れたかのごとく同じ過ちを繰り返そうとする。人類は学ぶことをしないのか。

本作では、2016年にオバマ元米大統領が広島訪問時に抱き寄せられた森重昭の生涯を追いかけた。「原爆が投下された広島にアメリカ人もいた」という事実を追いかける森の強い想いと行動がアメリカ政府をも動かし、世界に衝撃が走った。被爆したアメリカ人捕虜に所縁のある場所などを森自身が、妻・佳代子と改めて辿る。惨禍の広島で救助活動を行った外国人神父たち。活動の中心だった今は亡きアルベ神父やチースリク神父と接していた人々にもインタビューを重ねた。そこには人種を超えた結びつきが確かに存在していた。

被爆者にとって「空白の10年」と言われていた時期があった。被爆者への医療、経済的援助が乏しく、差別・偏見も多い中で自力で生きていくしかない状態であった。その被爆者たちのために被爆者手帳取得のための制度を作るために尽力した。増村明一への思いも聞く。森の妻である佳代子の父である。また被爆者健康手帳(被爆者手帳)の取得をあえて拒む人々も存在した。差別を恐れ、被爆者であることを知られたくないなど、複雑な心境の中での決断だった。長い年月を経て事実を受け入れる心の準備ができた今、取得を目指す人をサポートする者もいる。そこに見える思いとは…。原爆と言う悲劇の中にある、「人のため」を思う心。この時代に問いたい。

また本作「for you 人のために」、それに続いて公開される長崎被爆者オーラルヒストリードキュメンタリー映画「生きる FROM NAGASAKI」の主題歌「エレジー」を、BONNIE PINKが書き下ろした。様々な思いを感じながら、そして受け継いでいかななくてはならない思いを歌にした。シングルとしてデジタル配信される。エグゼクティブ・プロデューサーに食作家の園山真希絵を迎える。「a hope of NAGASAKI 優しい人たち」にも強く共感し、平和への想いを広く伝える。

introduction



何を思い人のために... その源は...



2016年、オバマ大統領(当時)が歴代アメリカ大統領として初めて被爆地広島を訪れた。多くの被爆者が追悼式典に参列する中に森重昭の姿があった。オバマ大統領は森の前で立ち止まり、優しく彼を抱き寄せた。その時の意味とは。

アメリカが原爆投下地を決断した時、その地にアメリカ人がいないかも選ぶ基準となった。しかし、実は数日前に日本軍によって撃墜されたアメリカ軍機の捕虜が広島にいたのだ。その事実を40数年かけて調べ上げ、乗組員らの遺品をアメリカ人家族に返却したのが森である。彼をそこまで動かしたものは何なのか…。

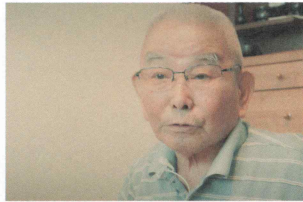
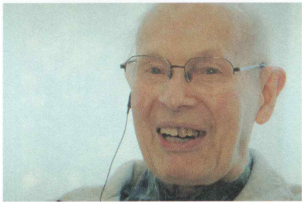


また広島には人のために尽くした人たちが多くいる。原爆手帳の取得や制度の見直し、暮らしへの寄り添い。立ちりはだる挫折を乗り越えた力とは。

被爆しながらも救護活動を続けた外国人神父たち。自身も怪我を良いながら、広島市民の救護活動を行っていた。被爆後は外国人であることで恐怖を感じながらも、市民に寄り添い続けた。



なぜ彼ら、彼女らはそこまで人のために動くのだろうか。広島原爆を通し、当時の惨状から人々の生き様を浮き出し、「人のために生きた人たち」をフューチャーしたドキュメンタリー映画。



監督・松本和巳

主題歌・エレジー 作詞/作曲/歌・BONNIE PINK アレンジ・Shingo Suzuki 音楽・松本俊明
 プロデューサー・石原ゆり奈 共同プロデューサー・遠藤洋典 エグゼクティブプロデューサー・園山真希絵
 宣伝プロデューサー・井内徳次 音楽協力・上阪伸夫 切り絵デザイン・製作(特別協力)・夕帆

<出演>森重昭 森佳代子 乗本勝子 切明千枝子 深堀升治 佐藤奈保子 中本彰子 大本進 李聖一 ロバート・ディータース 福田末子 ルイス・カンガス
 <宣伝・配給>テンダープロ <編集>mkdsgn / 合同会社Album <MA>大雪映像社 <制作>SDGsシェアプロジェクト / 合同会社Album <撮影アシスタント>藤江敬大 <制作アシスタント>奥野友子 <特別協力>株式会社フジパシフィックミュージック(若崎淳) 株式会社タイスケ(糸川成美) 株式会社テラ(宇津木秀夫) origami PRODUCTIONS(藤沢真友) SDGsピースコミュニケーションプロジェクト <製作協力>NPO法人Support for Woman's Happiness 一般社団法人シンプルライフ協会<協力>ヴィタリ・ドメニコ 李相源 久保裕己 橋本公 イエズス会聖ハネ修道院カトリック幟町教会 祇園カトリック教会 山口カトリック教会 広島県原爆被害者団体協議会 第五福竜丸展示館 被爆体験を継承する会 FANO <サポーターズ>江成道子 NPO法人子育てバレット 大塚哲 河本晴光 高橋歌織 竹内一秋 田島昌代 松下弘美 湯浅吉博 <資料協力>アメリカ国立公文書記録管理局 在日米国大使館 <製作>映画「for you 人のために」製作委員会 SDGsシェアプロジェクト ©映画「for you 人のために」製作委員会

2022年8月5日(金)より
 順次全国ロードショー

シネ・リーブル池袋
 テアトルシネマグループとSDGsシェアプロジェクト第二弾作品

テアトル梅田
 京都
 ※大阪、京都のスケジュールは劇場にご確認ください